

課題名	58 野菜の栽培生理解明	分類	②
	2) キュウリのブルーム発生と果実品質		
試験研究年次	63~1年(完了)		
I 目的	キュウリの接ぎ木栽培において、ブルーム発生程度の異なる台木が穂木の果実品質に及ぼす影響について検討し、良品生産技術改善の資料とする。		
II 試験方法	<p>1 供試作型と品種</p> <p>半促成栽培 穂木：北極2号(ときわ種苗) 台木：クロダネカボチャ(サカタのタネ) 雲竜1号(久留米原種育成会)</p> <p>早熟栽培 穂木：南極1号(ときわ種苗) 台木：新土佐1号(サカタのタネ) 雲竜1号</p> <p>促成栽培 穂木：シャープI(埼玉原種育成会) 台木：クロダネカボチャ、雲竜1号</p> <p>2 試験規模 1区7株 2反復</p> <p>3 耕種概要</p> <p>(1) 栽培方法 半促成栽培 ガラス温室、栽培夜温 15℃ 早熟栽培 雨よけビニルハウス 促成栽培 ガラス温室、栽培夜温 13℃</p> <p>(2) 播種及び定植期 半促成栽培 昭和63年1月25日播種、2月25日定植 早熟栽培 3月5日播種、4月9日定植 促成栽培 9月28日播種、10月26日定植</p> <p>(3) 栽植密度 半促成栽培 うね幅 200cm、株間40cm、1条植え、10a当たり1250株 早熟栽培 同上 促成栽培 うね幅 200cm、株間75cm、2条植え、10a当たり1333株</p> <p>(4) 施肥量 半促成栽培 10a当たり N=40Kg、P₂O₅=40Kg、K₂O=40Kg 早熟栽培 // N=30Kg、P₂O₅=30Kg、K₂O=30Kg 促成栽培 // N=70Kg、P₂O₅=60Kg、K₂O=70Kg</p>		
III 主要成果の概要	<p>1 台木に‘雲竜1号’を用いたキュウリは、‘クロダネカボチャ’や‘新土佐1号’を用いたキュウリに比べ、すべての作型でブルームの発生程度が低く、果実のつやが良くなる。</p> <p>2 台木に‘雲竜1号’を用いたキュウリは、半促成及び促成栽培では、先細果の発生が増加して、上物率がやや低下する。また、促成栽培では果皮色もやや淡くなる。</p> <p>3 収穫後の重量減少率及び総合鮮度は、半促成栽培及び早熟栽培とも、台木の種類による一定の傾向は認められない。</p> <p>4 収穫後の歯ざわりは、‘雲竜1号’に接ぎ木したキュウリが、‘クロダネカボチャ’に接ぎ木したキュウリに比べ、やや硬く感じられるが、重量比で5%及び10%の食塩で塩蔵すると、6日後は、やや軟らかくなり、歯切れが悪くなる。</p>		

IV 主要成果の具体的データ

第1表 台木の種類と外観的品質（半促成栽培、早熟栽培）（63年）

項目 台木の種類	半促成栽培			早熟栽培		
	収量 t	先細果 %	ブルーム	収量 t	先細果 %	ブルーム
クロダネカボチャ (新土佐1号*)	9.4	8	3.9	6.4	1	3.5
雲竜1号	9.0	13	0.5	7.6	1	0.6

注) ① *早熟栽培は‘新土佐1号’（以下同じ）
 ②ブルーム：0（無） 1（微） 2（少） 3（中） 4（多） 5（甚）（以下同じ）
 ③収穫期間 半促成栽培：4～6月 早熟栽培：5～6月

第2表 台木の種類と外観的品質（促成栽培）（63年）

項目 台木の種類	収量 t	不整形果		果皮色		ブルーム	
		先細果 %	短形果 %	12月	3月	12月	5月
クロダネカボチャ	10.9	9	15	3.0	3.0	0	2.4
雲竜1号	9.3	18	21	2.3	2.7	0	0

注) 収穫期間 12～5月

第3表 台木の種類と鮮度（半促成栽培、早熟栽培）（63年）

項目 台木の種類	半促成栽培		早熟栽培	
	重量減少率 %	総合鮮度	重量減少率 %	総合鮮度
クロダネカボチャ (新土佐1号*)	11.5	2.5	11.9	2.5
雲竜1号	14.0	2.5	10.1	2.0

注) ① 重量減少率は室内で収穫7日後の果重の減少率とした
 ② 総合鮮度 5：収穫時 4：市場出荷可 3：小売可 2：食可
 1：食不可とした

第4表 台木の種類と歯ざわり（1年）

処理	生	NaCl 5%		NaCl 10%	
		6日目	6日目	6日目	6日目
クロダネカボチャ	0	0	0	0	0
雲竜1号	+0.25	-0.5	-0.1	-0.1	-0.1

注) 歯ざわりは、クロダネカボチャを標準として28人のパネラーによる
 官能検査 1：硬い 0：変わらない -1：軟らかい

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 市場評価の高いブルームレスキュウリ栽培の資料とする。
- 2 台木に‘雲竜1号’を使用すると草勢がやや劣るので、長期どりの作型では土作りや整枝法等に注意する。

VI 今後の研究上の問題点

ブルームレス台木を用いた場合の施肥法及び整枝法の検討

VII 資料名

63～平成元年度 福岡県農業総合試験場園芸研究所 野菜試験成績書